

オープンハウス実施結果

1. 聞き取りシート

聞き取りシート

2024.1102
サイクルフェスタ

●まちづくりに自転車を活用することで、どのようなまちになるとよいと思いますか？（最大3つ）

- 1 環境にやさしい
- 2 移動がしやすい
- 3 災害時に避難等しやすい
- 4 健康増進が図れる
- 5 スポーツを楽しめる
- 6 生活の質が高い
- 7 にぎわいがある
- 8 観光が盛ん
- 9 その他（ ）

No. : 具体的なイメージ（選択肢のうちの1つについてヒアリング）

●上記で選択したまちの実現にむけて、さいたま市でもっと力をいれてほしい取組は？（最大3つ）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 サイクリングルート整備やマップ作成 | 8 自転車運転技術習得支援 |
| 2 自転車利用ができる公園等整備 | 9 自転車利用を促進する仕組みづくり |
| 3 シェアサイクル・他のモビリティポート増設 | 10 安全・快適な通行環境整備 |
| 4 自転車関連イベントの開催・支援 | 11 バス停周辺への駐輪場整備 |
| 5 交通安全教育 | 12 駅周辺駐輪場の増設・改善 |
| 6 自転車ルールの周知・啓発 | 13 放置自転車対策 |
| 7 自転車・ヘルメットの購入補助 | 14 その他（ ） |

●その他 ヒアリングして出てきた意見

●属性

- ・ 自転車の利用状況 （1 使っている ・ 2 使っていない ）
- ・ 居住地 （1 市内 ・ 2 市外 ）

[職員処理欄（目視でわかる範囲でチェック）]

- ・ 性別 （1 男性 ・ 2 女性 ・ 3 その他・不明 ）
- ・ 年齢 （1 10～20代 ・ 2 30～40代 ・ 3 50～60代 ・ 4 70代以上 ）
- ・ 子連れかどうか（1 子連れ ・ 2 子連れでない）
- ・ その他、属性に関する留意事項あれば記載（ ）

2. 調査結果

1) 回答者数 : 79 人

2) 回答者属性

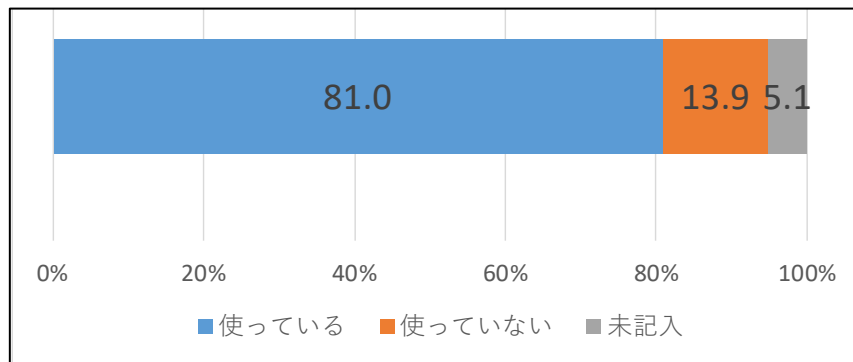


図 2-1 自転車利用状況

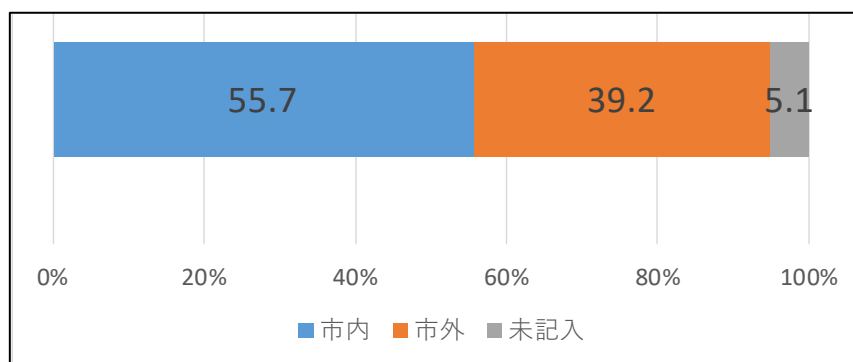


図 2-2 居住地

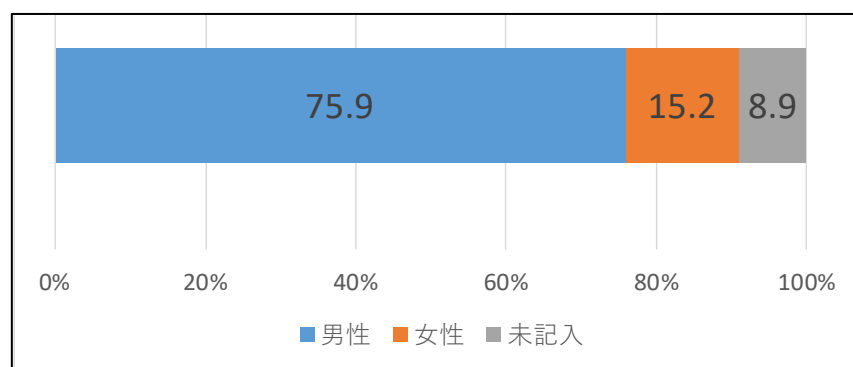


図 2-3 性別

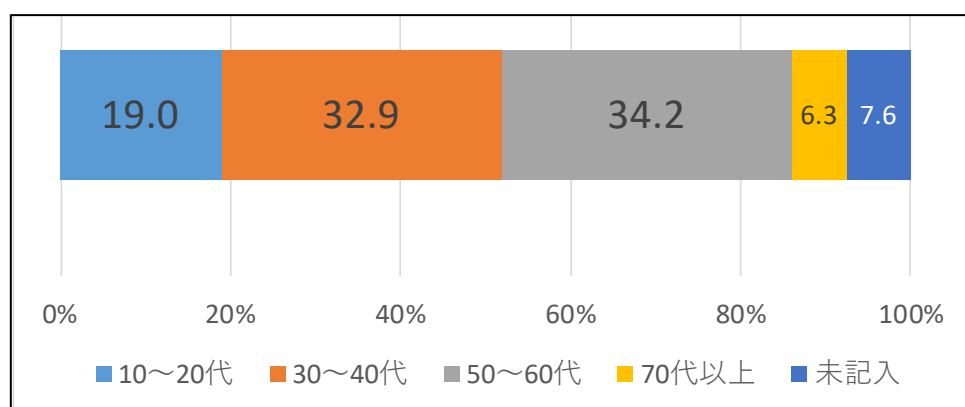


図 2-4 年齢

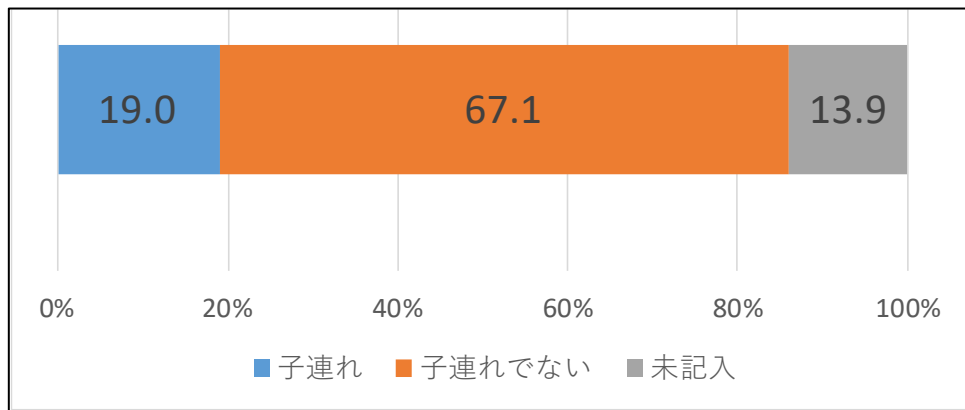


図 2-5 子連れ状況

3) 問「まちづくりに自転車を使うことで、どのようなまちになるとよいと思いますか
(最大3つ)」の集計結果

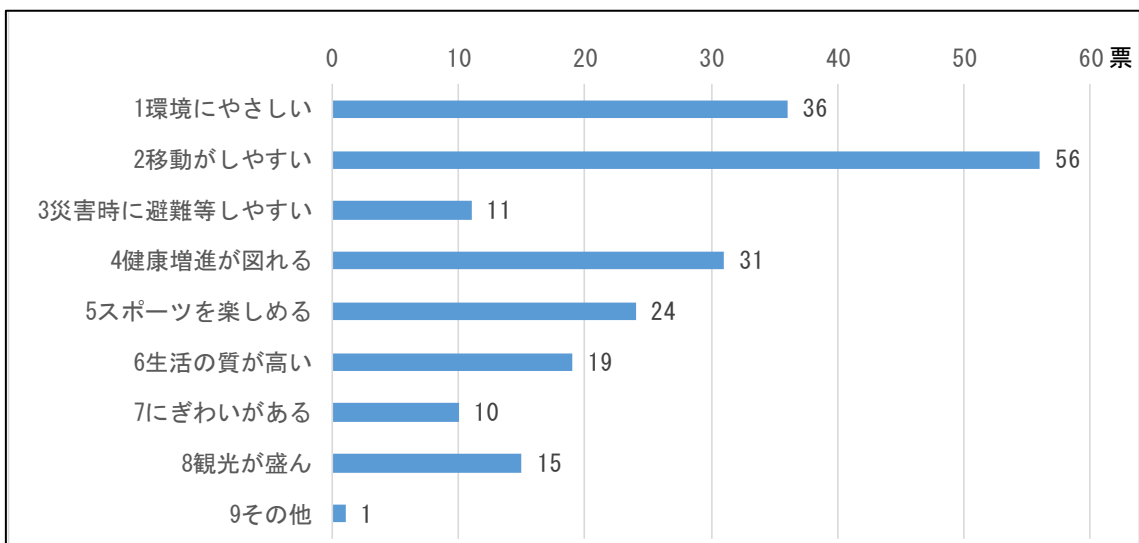


図 2-6 どのようなまちになるとよいと思うか

4) 問「上記で選択したまちの実現にむけて、さいたま市でもっと力を入れてほしい取組
は(最大3つ)」の集計結果

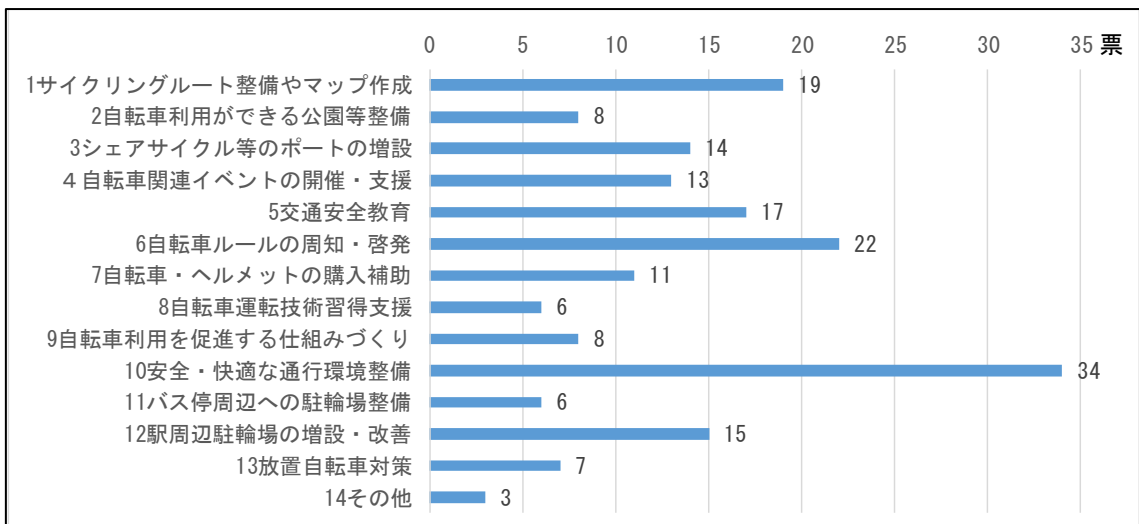


図 2-7 もっと力を入れてほしい取組

5) 問「どのようなまちになるとよいと思うか」についての具体的なイメージ回答

①環境にやさしい

・次の世代のため、環境負荷低減。 ・車は渋滞する。自転車は定時性が高いので、自転車通勤にした。
渋滞が解消
渋滞が減ると排気ガスが減る。公共交通を使いやすくするとよい。
自転車が増えることで渋滞の緩和、コンパクトシティが実現される。
各施設が自転車でアクセスしやすい距離の範囲で立地しているまち
クルマが減ることで排気ガスが減る。自転車に乗り有酸素運動をすることで健康になる。
クルマが減るとアスファルトの粉塵が減ってよいと思う。
クルマが減って、まちなかが自転車と歩行者が中心となっているまち。
・車に依存していない。 ・緑があって、自転車が走りやすい環境が整っていて、快適に暮らせる ・皆が自転車を使いたくなる設備がそろっている。 ・治安が良く、街中であってもロードバイクの盗難にあう心配がない。 ・鍵を持ち歩かなくても、駐輪できるスペースが整っていると、自転車にもっと乗りたくなると思う。
・たまに自転車を使うが、疲れるし安心して走れる道もないので、近い距離でもクルマを使う。もしも税金投入してバスや電車などの公共交通やシェアサイクルの料金が安くなるのであれば、もとを取りたいという感覚が働き、これらの利用を増やすと思う。なお、クルマに関する値段を高くすることでクルマ離れを促すという手法もあると思うが、市民感覚としては抵抗がある。 ・バスの便数が10分に2本程度の頻度まで多くなったら免許返納しやすい。 ・通勤時の電車は混んでるので乗りたくない。ピークをずらす、電車の本数を上げるなど、快適に乗れる環境を作ってほしい。
車を使わずに自転車を使ってほしい。自転車のまちとしてのイメージを伸ばして欲しい。

②移動がしやすい

保育園の送り迎えで安全に使えるよう、自転車レーンの幅を広くしてほしい。
クルマがないので自転車と歩きで生活している。そういう人達も便利に生活できるとよい。なお、道が細いので子どもと一緒に自転車で移動するのは怖い。
・市内の東西移動がしづらい。 ・車道が狭く、クルマも自転車も落ち着いて走れない
交通量が多く危ない。自転車レーンがあっても路駐している。歩道と同じレーンがあったりすれば一番良い。
狭い道路でレーンがない場所（昔からの地域など）が危険である。拡幅してほしい。自転車レーンの整備もしてほしい。
緑区の住宅街など郊外の地域だと自転車専用レーンがなく歩行者も危ないので、専用レーンを拡大してほしい。
・自転車が安全に走れるまちがよい。現状だと、クルマの左折専用レーンでは矢羽根がないなど、自転車通行を想定していない道路がある。 ・自転車は車両という意識が大切
安全が一番。全年代が安全に通行できる道。現状だと道が狭い。
・安全第一。高齢者でも安全に通行できる歩道及び自転車通行環境（自転車専用通行帯以上）を作してほしい。まだ作っていない都市計画道路でこの要件が満たされていないのであれば、完成時期が遅くなくても、税金の支出が増えてもいいので、しっかり見直してから作してほしい。（一度建設されたら作り直しはされないと思うので） ・安全の観点から、子どもは正しいルールを知って自転車を操作する技術が身についてから公道を走らせる必要があると思うので、自転車乗り始める子どもが運転練習できるように、交通公園を作ったり、休日の区役所等の開庁していない公共施設の駐車場を開放するなどして練習できる場を作してほしい。
・自転車の走行環境が整ったまちがよい。 ・ドライバーの免許更新講習の内容で自転車に関する事項が無かった。クルマのドライバーにも自転車ルール・マナーの教育をすることで、まちで自転車が乗りやすくなると思う。 ・小学校1年生から子どもたちに教育するとよい。
安全運転に繋がる道路づくり（埼大通りの通行帯は広すぎて、急に歩道などから通行帯に自転車が入ってきたりするので、自転車を運転していて神経使う）→交通安全教育も大切
普段クルマを使っている時にマナーの悪い自転車が多いと感じる。もう少し自転車への罰則も厳しく。大人世代にもマナーの周知を。
・自転車の移動に理解があるまち。クルマに乗っている人が自転車と共存できる。 ・自転車を使う人が増えることで、まちとして健康増進が図れる。 ・イベントで市民と行政が関われる機会があると、にぎわいがあると感じる。
・歩きにくいと感じるので、歩行者、自転車、クルマがお互いに迷惑をかけないように、それぞれの通行位置を分離する整備をする。そうすることで、移動しやすく健康増進の図れるまちになると思う。
自転車が通りやすい道にして欲しい

自転車専用道路化、道路の拡幅、専用レーンの増加、段差の解消
細い道でも通行しやすい道、狭いスペースでも自転車を停められる。
車道がせまい。自転車が通行しやすい道路
自転車通行帯があったほうがよい。
・自転車ルートが整備されて移動しやすい。 ・クルマが避けるような箇所があるといい。 ・自転車だけ通れる道。
毎日自転車で通勤しているので、通りやすいとありがたい。
・自転車優先道路を整備する。 ・クルマは駐車場が必要だが、自転車は気軽に移動できるところがよい。
自転車レーンに車がとまらないようにする
小回りが利く。道路が混雑している時に自転車だと影響されない。
車の渋滞がいや。自転車が楽で速い。晴れていれば自転車が便利
渋滞がない、段差がない、バスやモビリティがそろっている。
手軽なところ。広範囲に移動できる。
自転車はクルマに比べて駐車場の心配をしなくてよい。また、広範囲に移動できるから。
・広範囲に移動できるから ・いつも自転車を利用している。
歩くより広範囲に移動できるから。
・岩槻などでアクセスしづらいところがある。そういったところに車以外で行けるといい（免許はあるが運転していないので）。 ・電車やバスの乗り継ぎはいい。 ・シェアサイクルは便利に使っている。いつでも使える状態になるように、もっとポートを増やしてほしい。なお、シェアサイクルは安いと思うので、現状で採算が厳しいようであれば、市が税金を投入する前にまずは利用料金を高くしてもいいと思う。
駅近くに停めやすい駐輪場があるまち。地下の駐輪場に停めることが面倒に感じて出かけたくないときもある。

③災害時に避難等しやすい

いつ何があるかわからないので、避難するルートと場所を確保。
・災害時に安全に避難所まで行ける道の明示が欲しい。細い道が多いので、災害時には通行止めになりそうなので。
・避難時には、いつまで避難が必要なのか等の見通しを立てられるような情報共有を望む。
東日本大震災の時、公共交通機関がマヒした。災害時に公共交通機関の代替えになる。
災害時はクルマが渋滞しているので自転車が便利だと思う。
・車が使えない細い道を見かけるので。
歩くのが陰しい方などが避難に自転車を活用できるようにする

④健康増進が図れる

普段運動していないので、生活を送るなかで健康増進を図れるとよい。なお、歩きでもいい。
買物の行き帰りに使用している。大宮区の色々なところに放置自転車が多い。
自分の健康のために自転車を利用している。
健康のために自転車を活用すること
自転車は運動になる。自転車サイクリングロードを整備することにより、長距離移動が可能になる。
・健康のためにロードバイクに乗り始めた。 ・大宮は自転車が通りづらいので、専用レーンの拡充希望 ・自転車のマナー向上もしてほしい。
専用レーンに車が駐車していると、歩道や車道に入らないといけず危険。専用レーンの形骸化を懸念している。

⑤スポーツを楽しめる

・自転車に限らずスポーツをしたい。本来は体育館を使いたい、お金がかかるので手軽に
使えない。サイクリングロードまではアクセスしやすいとよい。

自転車をスポーツとして楽しむことが、まちづくりに繋がると思う。

子どもにやらせたい。子供が自転車に乗れたり、その他いろいろなスポーツができる場所
(公園など)があるとよい。

子どもといっしょに自転車を走らせたい。家の近所では車道を走らせるのがむづかしい状
況。信号が無いルートだとなおよい。

- ・シャワーや着替えができるスポットがあると良い。
- ・サイクリングルート沿いに、グルメがあることが重要（高級なお店でなくて良い）
- ・きれいなトイレも必要（特に女性向け）
- ・（飯能には奥武蔵グリーンラインという有名なサイクリングロードがあるが、そこにもグ
ルメがある）

川沿いの土手のサイクリングロードで雑草が生い茂っている。こまめに刈り取って欲しい。
サイクリストが走りやすい環境整備

サイクリング観光ツアーのようなものがあるのも良いのではないか。観光客は道がわからな
い

趣味のためのサイクリングルートがある

さいたま市は自転車で立ち寄れるスポットがたくさんあるので、もっと今後伸ばしていって
欲しい。

サイクリングロード沿いの公園などにキッチンカーなどが出ていると良い。人も集まってく
ると思う。（狭山市だと公園にキッチンカーが出ている）

サッカー×自転車→サッカーを盛り上げる為の自転車まちづくりの整備

⑥生活の質が高い

生活に困らないで便利に生活できる
・通勤、通学、買物に利用できることがよい。 ・幼いころから利用しているので、馴染みがある。
駅の東西の行き来がしやすくなると、生活の質が高くなると思う。
・広範囲に移動することができることがよい。 ・自転車をツールとして近所とコミュニティをつくることができるから。
・物流での利用 ・移動以外の利用 ・友人と一緒に自転車を
・ゆっくり回ることによって様々な場所へ行けて景色を見たり、訪れて知見を深めることができるような街。 ・自転車マナーが悪い。
安心して歩けるまちがよい。 (神戸に住んでいるが、歩いていると、ルールを守らない自転車が多いと感じる)
・暖かいハートフルなまち。ルール・マナーのことでギスギスせずに、気持ちよく譲り合い精神が浸透。 ・大人を対象とした教育の機会を作って欲しい。(クルマ・自転車ともに)

⑦にぎわいがある

若い人が増える、子どもが沢山いる→お店も増えてにぎわい、さらに人が増えるという好循環になるとよい。
・駅前がすっきりしていて、自転車や歩行者の動線がきちんと分かれている。 ・駅前ロータリーとそこから延びるメイン道路に、まちのにぎわいを生むためのスペースが確保されている。
休日のまちなかにサイクリングをしている方があふれている。

⑧観光が盛ん

綺麗な風景が見えるとよい
観光のイメージは少ない。ランドマーク的な建物やビル群の中をガイド付きで巡るツアーなど面白いのではないかな。
お城等歴史を感じられる場所を見て回れるなど、市民の日常生活が楽しくなるようなまち
イベントなどの開催でにぎわいの創出を。
・自転車で訪れたい場所の整備をして欲しい ・自転車専用レーンが多いと乗りやすい。 ・折り畳み自転車でサイクリングをする場所が多いと良い。
大宮かどまち周辺に自転車を駐輪できる環境を整備してほしい。人を呼び込む取組を。